

長泥も一歩ずつ前に進んでいると実感し、うれしく思っています。

5月に開かれたマルシェは盛大に盛り上がりました。他にもいろいろな団体が地区を盛り上げようと長泥を訪れてくれていて、だんだんと我々地元も関われるようになっていきたいと考えています。

また、復興復旧が進み、いよいよ自分達で手をかけられるエリアが増えてきて、農業を含め今後の具体的な進め方を、真剣に考え本音で話すべ

き時期に来ていると思っています。

村の家に泊まっている人や新築をした人がいて、ホタルや星空を見に来る人もいて、大学生からはキャンプをしたいという相談もあります。今までの見方や考え方に固執せず、視点を変えつつ考えていきたい。並大抵のことではありませんが、次のステージに乗るためには、それをやっていかなければと思っています。本当の意味での復興はこれからです。

interview

一歩ずつ前に進んでいることを実感
次のステージを考えていきたい

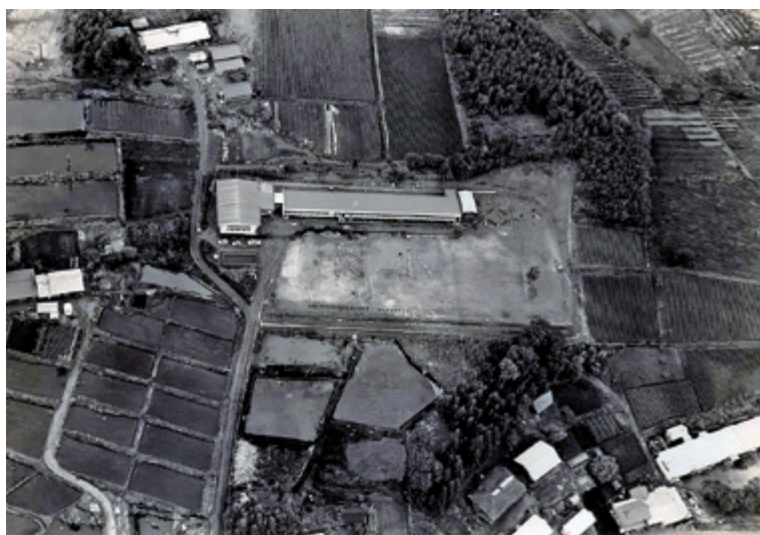


長泥行政区長
高橋正弘さん(長泥)

topic

行政区の記録写真を復元

長泥行政区は、保管していた写真のネガフィルムの記録を後世に残そうと、約2,000枚の写真データをデータ化しました。行政区の集まりで地域の歩みを振り返るなどして活用していく予定です。



上段右)長泥夏祭り。同左)長泥小学校(校庭に「長小」の人文字。下段右)長泥青年祭。同左)旧コミュニティセンターでの老人会活動。



長泥を応援したい！みんなが想いを込めました

よってがっしえ長泥！ワクワクマルシェ

5月3日、長泥コミュニティセンターで、実行委員会主催のワクワクマルシェが開催されました。会場には飲食・雑貨・花などを販売する村内事業者のブースが並び、多くの人で賑わいました。また、福島大学大黒ゼミの学生が、村のかつての恒例行事をモチーフに、ユニークな種目で競い合う「村民体育大会」や、長泥の将来を語り合う「ホラ吹き大会」などを企画。参加した人はもちろん居合わせた人達が、当時を懐かしみ、故郷を語り合い、長泥での交流を心に刻んでいました。



故郷の味わい...学生企画の「村民食堂」も大人気！



みんな来てくれてありがとう！

手が覚えて
いるね



村民体育大会の名物種目「縄もじり」

「ホラ吹き大会in長泥」
将来の長泥は...胸アツの
素敵なホラが続出

長泥に世界最強のサッカーチームができる！

花でいっぱい
の長泥が一大
観光地に！

高速道路をつくり
に。みんなが
長泥に来ます！



長泥コミセンに
遊具を設置

この春、村は、国の事業を活用し、長泥コミュニティセンターの広場に、滑り台付きジャングルジムやスプリング遊具などの屋外遊具を設置しました。マルシェの日は好天に恵まれ、来場した子ども達が次々に利用し楽しんでいました。

